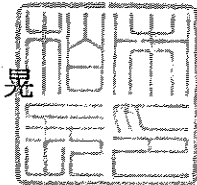




柏土整第173号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

柏市長 本 多 晃



今後の道路行政についての意見・提案の提出に
ついて（回答）

平成20年9月19日付け，国道企第37号で依頼のあ
りました標記の件について別紙の通り回答します。

【 要 望 】

- ①国道16号線の渋滞緩和、沿道の環境改善と地域間の連携等ため、千葉柏道路の早期整備を要望する。
- ②つくばエクスプレス沿線市街地の連携強化のため、都市軸道路（都市計画道路3・2・40号線）の整備促進を要望する。
- ③その他については様式②以下に記載。

【 提 案 】

道路網は、市民生活、地域の経済活動を支える最も基本的な社会インフラであるので、その整備、維持補修は、いつの時代でも着実に行われなければならない。

本市のように、東京近郊の住宅都市として昭和30年以降急速に市街地が拡大した地域では、住区の幹線道路、地域の骨格となる幹線網ともその整備状況は、居住人口、利用者人口、市街地面積に比して極めて不十分である。

住区の幹線道路については、歩行者の安全確保、バリアフリー化、公共交通の定時性確保、環境景観の保全向上のため歩車道の分離、歩道の確保、電柱の撤去、渋滞交差点の改良、自転車道及び駐輪場の整備、浸水常襲区間の改善など緊急に取り組むべき事業が数多く存する。

幹線道路網については、国道16号の渋滞解消及びつくばエクスプレス沿線新市街地の連絡を図るため、「千葉柏道路」（国道16号バイパス）、「都市軸道路」（茨城県、千葉県、埼玉県、埼玉県を連絡する新規路線、都市計画決定済）の整備着手が特に望まれる。

各道路の整備優先度の判定に当たっては、それぞれの地域の実情、要請内容が十分に反映される仕組みを作るべきである。地域の住民、道路利用者の実感に沿った選択をし、納税者の支持が得られることが必要である。そのためには、各地域で整備が必要とされる道路について、実地に即した全数調査を行い、これに基づき長期の整備計画を策定することとを提案する。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

千葉県柏市

○ 現 状	○ 課 題
①国道6号・16号線の交通渋滞	市の南北を結ぶ動線が弱く国道依存度が高い状況にある。 交通渋滞・混雑緩和のため、千葉柏道路の早期整備が望まれる。
②市町村合併に伴い一体化を図る幹線道路の整備	新市の交流や連携を図るため整備を進めるに当たり相当の期間が必要である。(10年以上)
③都市計画街路の整備	都市計画街路の整備率は36.4%(19年度末)に留まっている。 事業推進は、着実な財源確保が必要。
④交通バリアフリーの整備	高齢化社会に対応したバリアフリー化を一層推進する必要があるが、重点整備地区内特定経路の整備率は27.0%(19年度末)に留まっている。推進に当たり、特定財源の集中的な投資が必要である。
⑤自転車・歩行者の交通安全対策	既成市街地の歩車道分離の拡幅整備は、より多くの財源が割り当てられることが必要。
⑥既存道路・橋梁ストックの維持・管理の補助金導入	事故を未然に防ぐため計画的なメンテナンスが必要であるが、コスト削減等を行っても財源が不足している。特定財源の集中的な投資が必要である。

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県柏市

国道6号・16号では、市内の道路網整備の遅れによる交通の流入や、相対的な交通量の増加などにより混雑が慢性化しており、生活環境や交通安全面での問題が発生している。このため、バイパス機能や補完機能を備えた骨格道路網の整備など、将来都市構造を踏まえた道路網体系の充実を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例，期待する効果や評価等）

千葉県柏市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①国道16号線の交通渋滞	千葉柏道路の整備	交通量の分散，渋滞損失時間の削減	
②都市軸道路の整備	千葉県内（柏・流山市内）の整備促進，江戸川，利根川橋梁の着手	つくばエクスプレス沿線各都市新市街地の連携促進	
③交通バリアフリーの整備	重点整備地区内特定経路の整備	高齢化社会に対応した道路整備	
④交通事故対策	学童の通学路の歩道整備	交通安全対策による交通事故の減少	